

ひめま

八

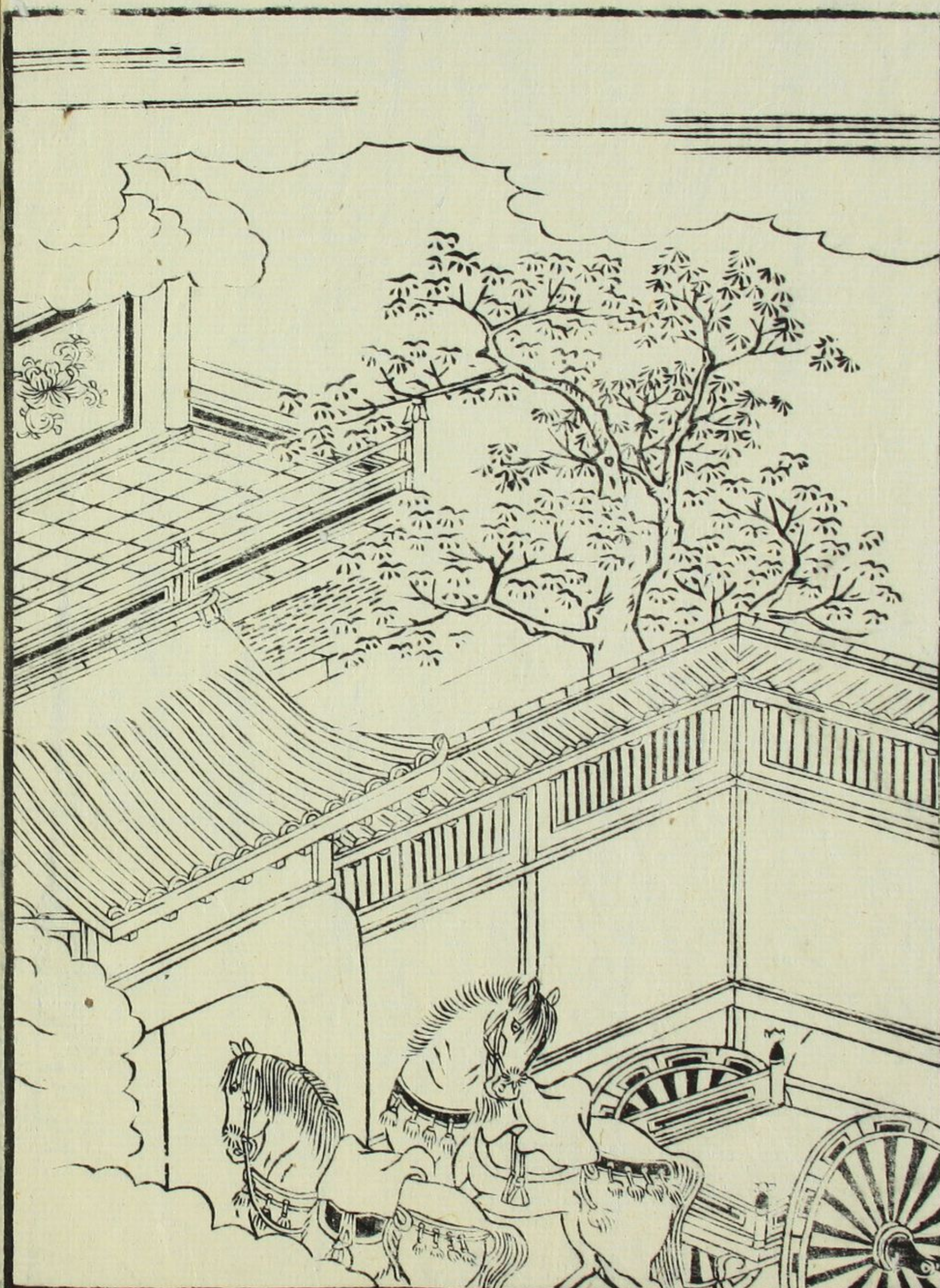
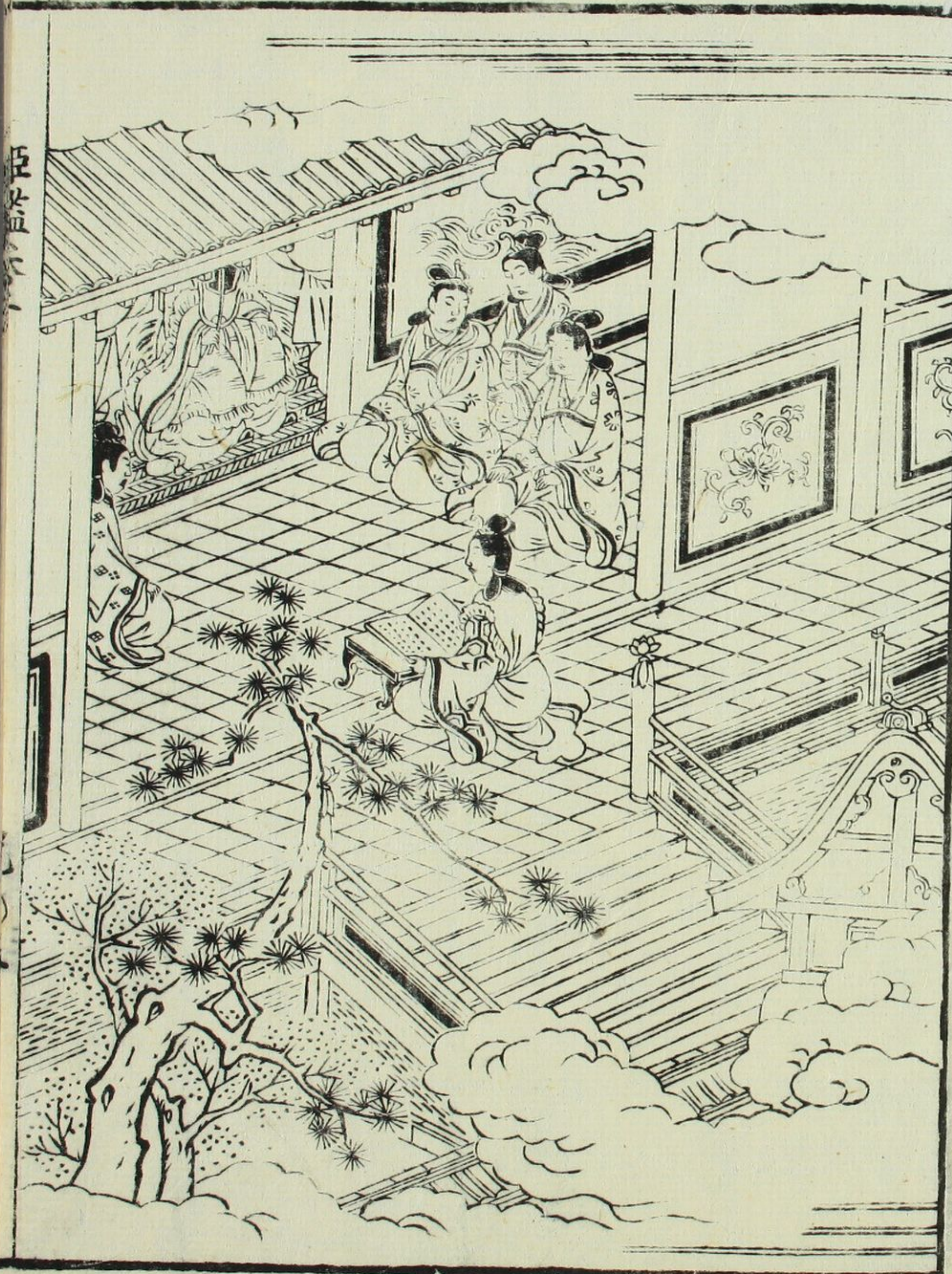


比賣鑑卷之二

紀行第二 此巻の第一のまゝのすゑなり

唐の柳仲郢が母韓氏の相國韓休れすゑとして高家のいじり
 かりたりと柳氏の妻となりて家とあはれむけいともあつた
 つまらぬあつておとびそのうに官家におはして是もなす
 柳氏よりりてよりこのよとふやうなれともかゝるもその
 にひらいてさうさうとんとつひにむらり乃緒ぐりゑて
 のちとあつていふかごとくはるの里入りのさう時を金張
 つのえたる糸物よれとて竹のたぐいとけりぐりく青
 女房二人そひゆくむらりなりと仲郢のびまそのおれりども





くもゆ〜かりかり

宋の祢衡も又尹嬭が母陳氏なりと先く後〜つらねど
 色〜つらねつ〜さんかくあどちんじらひ〜つ〜たり
 祢衡が〜あかり〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 つひま〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 後〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 志〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 ころ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 て〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 除よ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

ぞり〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 こと〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 入りて母よ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 こと〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 て〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 つ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 官達此のぞ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 う〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 とあ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 涙の曹を〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

てくらとめえとぞ世よのくくろひかろ女よとぞ一のぬと
 作りたる唐の長孫皇后の女則十巻ありえ師在る妻れ
 劉氏が女儀一巻あり尚文の宗氏が女海語十巻あり王濟
 が妻の揚氏が女戒一巻ありて羽羽よりりて后妃のほ
 まつらぬともおかり

ころがまよひしは春れ山恵心院の傍於深信くひきりハ
 らまをさるる信なり又ハト終るおぶし母の性ハ信系し
 父和玉尊本の人がりけりが又よふおあてとくまきその母
 父のつひとさるるおかりてらごど山の高惠傍にまつあて
 除よかりおかりおは人まるとくはとく年十六とて内の八條

よ同者とくくろりたれがその産て傍於よなきをありら
 くてはなつての母うたうももよひくならぬ傍於いばし
 らぬうひとえれどらうもよひばたおの念りてうらと
 れあつたつたぬづとあは伝事しける除よ信あつた布
 移がとちりてえとえれいさうしてつた母のりくお
 さつたつたりの世のつひとたじくもれづまよつこ
 らぬおんといかるまはとくまきとくまきとくまきとく
 いしとくまきとくまきとくまきとくまきとくまきとくまき
 おんといりてとたつたつたつたつたつたつたつたつた
 ちかつたつたつたつたつたつたつたつたつたつたつた



かなもきのひごのいぬあやなをすゝめんを夫性よめ
 ふゆわつて日よこ世をそめてその父母をゆるるるを
 お春のよきなりとあり

ひろくもよき世よの法除ありその除智具やまひよあし
 てさくはくちんどもいひあふも安寂清明よのりさうの晴
 明なる除のなまひすいびごてもよまらうんあわが
 う法とよかみいんと法除り日よわの除のいぢちごまあぐ
 ぬいあうんいんいひひかただけけりなりていひひも
 すもあふあひ鏡かたはくのあよあふとつらひ書置れ
 ぬいんや除よわつて死さうのあふのあふとあふんれ

わーびんも母のちういよりのやうな心なす

相模の系武の藩に清く正しく武勇のたけり

その妻もいよりのいよりのけりすねくらういよりの

人なりうらも女智れうらぬの何よくれぬ又悲愴の思

きあつて一とぬのお業中おまてうらよそのおいひぞ

いよりのうらうらうらうの社よりのけりたの坂くらういよ

てたさうの半は儀にうらうらあてあてうらうらうけり

よりぬいよりの儀のおいよれうらういよりのうらうら

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

いとぬいよりのうらうらうらうの半は谷くらういよりの

比賣鑑紀行卷中三

目錄

緹索 列女傳

曹娥 後漢書

楊香 九倫書

詹氏女 古今列女傳

趙娥 後漢書

王柔 音教列女傳

珠崖二義 列女傳

朱娥 古今列女傳

附 王氏女

附 徐彩鸾

附 王廣女

附 衛恭女

右侍見媛 日下紀

藤我道媛 同上

高橋宗女 淡目下紀

安良貴 日下後紀

極楽死女 後頼暗器

附 衣縫を死女

淡目下後紀

比賣艦紀行卷第三

紀行第三

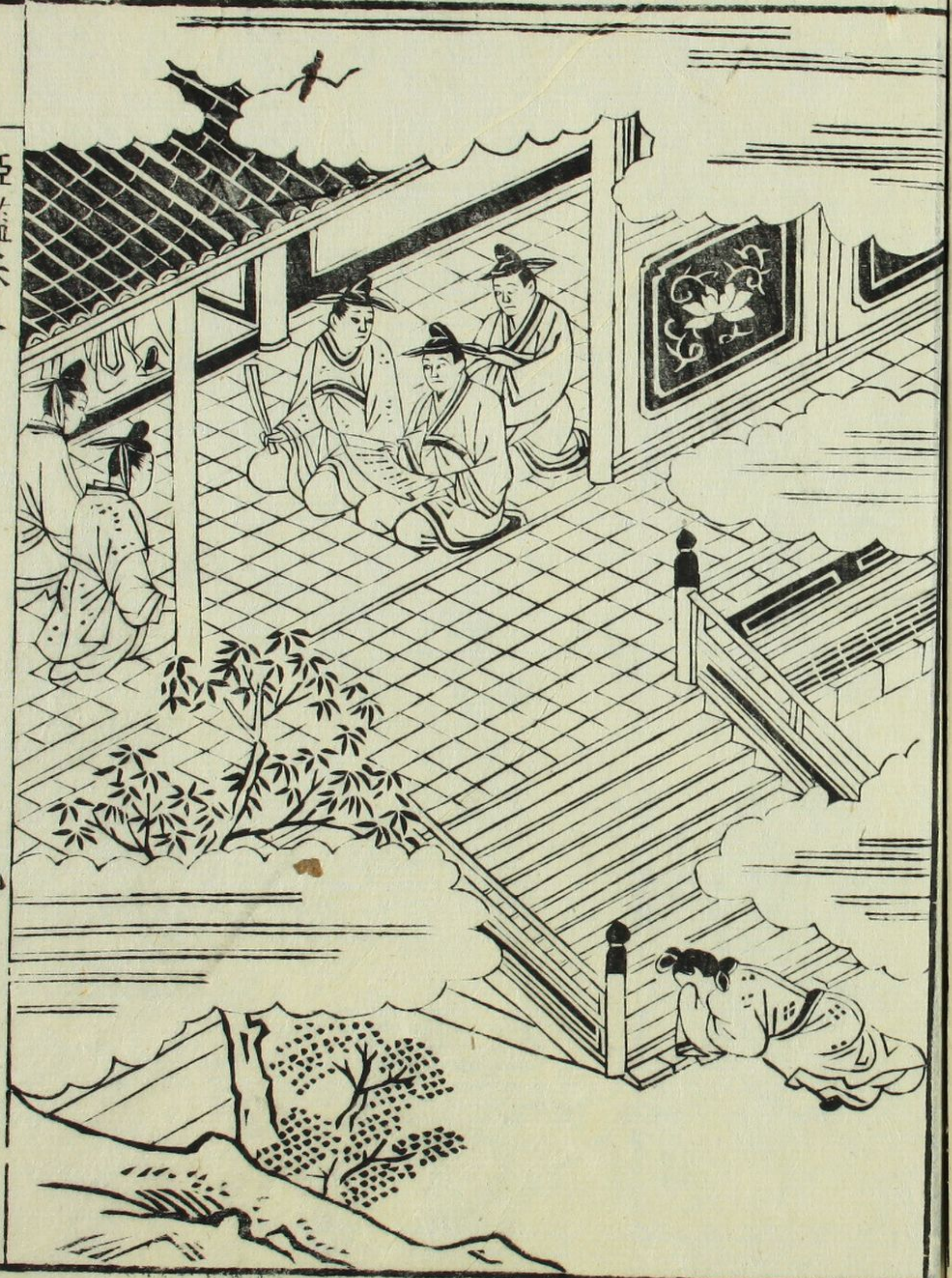
いそよ人のいとめれ父母は若ありしゆらゆとあらは
 すれらち小学明備の父母の親のゆちかかたわたりなり
 浪の浪子とていとめれ親業とて若あり者文を帝に付し浪子
 云々乃よよははとありてわらわら若きらむとて死飛よらふハ
 ぶつとよなりぬそのいとめれ人ありておろこかすてよそ
 くらとゆとたよあしとあつたのあつたがふけしとたけとぬ
 浪の浪子とていとめれ親業とて若あり者文を帝に付し浪子
 云々乃よよははとありてわらわら若きらむとて死飛よらふハ
 ぶつとよなりぬそのいとめれ人ありておろこかすてよそ
 くらとゆとたよあしとあつたのあつたがふけしとたけとぬ
 浪の浪子とていとめれ親業とて若あり者文を帝に付し浪子
 云々乃よよははとありてわらわら若きらむとて死飛よらふハ
 ぶつとよなりぬそのいとめれ人ありておろこかすてよそ
 くらとゆとたよあしとあつたのあつたがふけしとたけとぬ

たりしをうらみしとぞいふもいふ所かこしなまほしきとていひて
 ともいひて長安の都はもと天子てよめしとていひてわが統業と
 づつみとらびくたげしとていひてけり座のこが父齊の目よゆ
 けり時よとよとていひてはまればひかりがちのいざかおのり
 かはせぬらぐとていひてなかりおそれ死ぬかゆのいにていひてい
 ちいぬののにてびつとていひてはよめしとらびくたげしとてい
 ためんとすしとていひてそのなまよとらびくたげしとていひて
 とめしとていひていづつとていひてとめしとていひてそのい
 てめしとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 とていひてとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて

まし天がトよみとせりて死罪肉刑のほとびとていひて
 されよとらび統業がよとていひてとていひてとていひてとていひて
 すくふのよとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 改のよとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 浮の曹娥がよとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 母よ孝ぬりよとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 たりちつらゆありげりよとていひてとていひてとていひてとていひて
 ひのよとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 けりよとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて
 ともとていひてとていひてとていひてとていひてとていひて

せりてしよふ死をわらむ日ありてりらぶがかすのくさ
 むようはかこりもるくさくさくさくさくさくさくさくさく
 かくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 何が碑とさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 つりくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 せよつひつてあれ

唐の楊香ハ農家のひとあり父と楊豊とつあつり父とと
 のふいとりのわらう虎とつあつり父ととりのふ
 せりり楊香とつあつり父ととりのふとつあつり父ととりのふ
 せりり楊香とつあつり父ととりのふとつあつり父ととりのふ





〇わやそいじん虎おそれて逃げたりさて女いたをりふり
 そのちぬうめで来たうおどちりあうその望まう
 とくそく若めとあつちもあうわ

又えのはま成ふいとあわりこも農夫のみなり又なれが
 たりよわぐあつちりけりこれよ弱よまうそのいじふい
 よわまらふ又がうづれよあぶちりさういせおくんさハ
 弱いわとつちとあつちその又とむそのけりいすめ追ゆく
 らよ又がすくめちあつちりてあひつと弱のなつとまう
 らしてそわとつちらういされい又ハのうとてうわわ
 うもも若感ふりて鬼神のたもけまけあふと

親書なげさくされい父なりまがもふくく父をたをけぬ
 まとらひるれど父をゆるして親書のよりのゆく親書のむそ
 うふ父よつちていづく我死ぬともうりあともやとほのな
 りのぬよまごひく桂林橋らふはしとらつかり時よ給とほ
 づりあづすこもむりひておりのありなれはうらつちあつ
 だ桂林の橋れしのみろこそがむそとらんかむいられよ
 んあむこもむそありすれらあむそあむのぬくおちりあよお
 ららづららららららららららららららららららららららら
 んかげくあまのりけ二人のじとあ父が命よろつりてくのがあや
 んがぶらららららららららららららららららららららららら

漢の趙嫁とらふ女ありその父と二人のあまららららららららら
 三人ありけららら痛てあまらららららららららららららら
 んまらかのよあああああららららららららららららららら
 りあまららのいさむりはむりらららららららららららららら
 ひとあひらりてかどかてら車の内よわくくはれれり
 りまららららららららららららららららららららららららら
 んらららららららららららららららららららららららららら
 かりかてららららららららららららららららららららららら
 てらららららららららららららららららららららららららら
 じらららららららららららららららららららららららららら

又ぬらふまゝでいし事とてあつたはむと申すに
 てぶらうとていし事とていし事とていし事と
 らしむとていし事とていし事とていし事と
 そいふとていし事とていし事とていし事と
 し事とていし事とていし事とていし事と
 かり又唐の海客女字の云ふ事とていし事と
 若女といふ事とていし事とていし事と
 とせよとの事とていし事とていし事と
 といふとていし事とていし事とていし事と
 の事とていし事とていし事とていし事と

若女たぬらふまゝでいし事とていし事と
 かりとていし事とていし事とていし事と
 けしとていし事とていし事とていし事と
 その花とていし事とていし事とていし事と
 かりとていし事とていし事とていし事と
 いし事とていし事とていし事とていし事と
 おし事とていし事とていし事とていし事と
 さればとていし事とていし事とていし事と
 けしとていし事とていし事とていし事と
 とていし事とていし事とていし事と

